



姫路市議会議員

ときわ
常盤まさのり

のときは今!!(活動報告)

発行 2024年7月5日

【第109号 6月 月例議員活動報告】

連絡先 〒670-0993 姫路市千代田町 840
(三菱電機労働組合姫路支部内)
TEL (079)298-8824 FAX(079)293-2683
住 所 〒670-0802 姫路市砥堀 1210-26
TEL・FAX(079)264-1501

～～～～～【6月の主な内容】～～～～～

1. 定例会本会議にて質問しました

6/5(水)から6/28(金)までの24日間、令和6年第2回姫路市議会定例会が開催されました。

開会日に提出された令和6年度補正予算、条例の制定など47件、会期中の追加提出案件も含め、いずれも原案を可決、同意および承認としました。

このたびの本会議にて個人質問の機会を頂き、3項目18点について質問し、市長をはじめ副市長、関係局長から答弁を頂きました。質問内容の一部をご報告させていただきます。

【質問内容(主な質問を抜粋しました)】

(1) アクリエひめじの持続可能な運営について

〈質問〉 多くのイベントがアクリエひめじで行われている。イベント終了後の一斉退場時の駐車場の混雑解消対策として、駐車場北側に出口を設けることを提案するが、当局の対応について伺う。

〈答弁〉 これまで混雑が予想される催事の出庫時間帯に係員を配置したり事前精算機を増設するなど、1台当たりの出庫時間の短縮に努めてきた。

本年度は出庫口を北側に設置した場合の周辺道路への影響や、駐車場内の安全な経路などを検証する交通シミュレーション調査を実施する。来場者の方々に安全かつ快適にお帰りいただけるよう、調査の結果をもって駐車場の混雑対策を検討する。

(2) 『住みたいまち』への対応について

〈質問〉 人口減少が進む中、姫路市は令和4年、令和5年と社会増であったと仄聞する。

具体的にどの地域が転入先として選ばれているのか、なぜ選ばれているのかを伺う。

〈答弁〉 本市においては令和4年は259人、令和5年は168人と2年連続で社会増となった。

令和4年、令和5年の2年間で転入者が多い小学校区は、城陽、手柄、白鷺、荒川、飾磨、高浜、白浜校区などであり、JR山陽本線沿線及び市南部に多い傾向にある。

転入者に選ばれる要因としては、これらの地域は交通環境や商業施設が充実しているなど、生活する上での利便性が高いことが主な要因ではないかと考えている。

(3) 市内陸部の工場用地確保について

〈質問〉 市内で継続的に事業をするための工場用地を求める中小事業者がいる一方、働く場所を確保することにより、通勤する従業員が増え、郊外部における大幅な人口減少に歯止めをかけること

ができるだけでなく、郊外部への移住・定住促進につながれると考える。

市街化調整区域の規制緩和における対象事業のさらなる拡大を検討することはできないか当局の考えを伺う。

〈答弁〉 先端技術開発関連の企業に限らず、工場用地ライブラリー制度による用地情報の提供、開発に係る各種行政手続のサポート、相談窓口のワンストップサービス、工場立地促進制度による奨励金の交付などにより、総合的に市内中小企業者を支援していく。

本市の内陸部は、都市計画や農業に関する規制が多いため、今回の規制緩和や特例を定めた法令を活用することで立地可能となる場合もあることから、企業から相談があった場合は適切な助言を行うほか、手続がスムーズに行えるよう努め、先端技術開発関連分野を中心とした業種などの投資促進を図っていく。

(4) 給食調理室への空調設備早期設置について

〈質問〉 児童生徒へ給食を提供する多くの給食調理室、特に自校方式の調理室にはまだまだ空調設備が設置されていない。

安全安心な給食を提供するためにも早期設置が望まれる。今後の整備計画について伺う。

〈答弁〉 4つの給食センターのうち北部と南部の2施設に、自校方式の小学校については60校のうち6校に空調設備の設置が完了している。

給食センターについては今年度実施設計を予定し、令和8年度までに整備が完了する予定になっている。自校方式の小学校については、設置完了年度は未定であるが、建て替え時の整備は令和3年度から、既存の給食室への整備は令和5年度から、順次、校舎長寿命化改修工事等大きな工事と合わせて、年間3校程度行っている。

衛生管理の面、そして調理員の労働環境改善の面から必要であるということは十分認識しており、少しでも早く全ての給食室に設置できるよう努力をしていく。



〈動画はこちらから〉



〈質問の様子〉